

大和市教育委員会 9 月定例会

日 時 令和5年9月27日

午前10時00分

場 所 教育委員会室

1 開 会

2 会議時間の決定

3 会議録署名委員の決定

4 教育長の報告

5 議 事

日程第1（議案第30号） 令和6年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について

6 そ の 他

7 閉 会

(1) 前月定例会以降の動き

- |                        |         |            |
|------------------------|---------|------------|
| 1. 児童生徒指導講演会           | 8/24（木） | 文化創造拠点シリウス |
| 2. 大和市青少年健全育成大会表彰選考委員会 | 8/29（火） | 大和市役所 会議室棟 |

(2) 令和5年大和市議会第3回定例会報告

- ・本会議 初日 8/30（水） 一般質問 9/19（火）・20（水）・21（木）  
最終日 9/26（火）
- ・委員会 文教市民経済常任委員会 9/4（月） 厚生常任委員会 9/5（火）

○ 一般質問の概要

- ① 北島 議員 ・学校におけるレジリエンス教育について
- ② 石田 議員 ・学校給食において段階的に有機食材を増やしていくことについて
- ③ 金原 議員 ・小中学校における主権者教育について
- ④ 山田 議員 ・ヤングケアラーの早期把握に関する教育委員会の課題意識と取り組み
- ⑤ 布瀬 議員 ・学校における防災教育について
- ⑥ 吉田 議員 ・災害時の学校給食実施体制について
- ⑦ 村田 議員 ・小中学生の学力の現状について
- ⑧ 青木 議員 ・青少年における非行や犯罪の未然防止について

(3) 次月定例会までの予定

- |                       |          |              |
|-----------------------|----------|--------------|
| 1. 第2回県央教育事務所管内教育長会議  | 9/29（金）  | 水とエネルギー館     |
| 2. 青少年問題協議会           | 10/3（火）  | 大和市役所 全員協議会室 |
| 3. 美術講演会              | 10/17（火） | 文化創造拠点シリウス   |
| 4. つきみ野中学校課題研究推進校中間発表 | 10/18（水） | つきみ野中学校      |

議案第30号

令和6年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について

令和6年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について、審議願いたく提案する。

令和5年9月27日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本 隆夫



# 令和6年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針

大和市教育委員会

大和市教育委員会は、学校の組織としての能力を高めるとともに、教職員の意欲と専門性の向上を図るため、また、教職員の世代交代が円滑に進むよう、人事異動にあたっては、次の事項を基本方針とし、関係機関の協力のもとに教職員の適正な配置に努めるものとする。

## 【基本方針】

### 1. 組織力の向上を図る。

本市教育の活性化を図り、多様な教育課題に対応し、教育効果を高めるため、積極的に転任及び配置換えを行い、教職員組織の充実と均衡化に努め、魅力ある学校づくりの推進と学校の組織力の向上を図る。

### 2. 人材育成を推進する。

世代交代が進み、教職員の年齢構成等が変わりつつある中、全市的な視野に立った人事異動により、一人ひとりの教職員が多様な経験を積み、組織内での自らの役割を意識し、意欲的に力を発揮できるよう、人材育成を推進する。

## 令和5年度教職員人事概要

◎ 令和5年5月1日現在の教職員数（定数）

小学校：745人  
 中学校：382人 計 1,127人

1. 総括教諭・教諭の男女・年齢別【正規職員のみ（産休・育休者含む）】（令和5年5月1日現在）

年齢	30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	計	男女の比率	
小学校	男	56	107	53	8	224	38.2%
	女	96	161	77	29	363	61.8%
	計	152	268	130	37	587	100.0%
	率	25.9%	45.7%	22.1%	6.3%	100.0%	—
中学校	男	33	58	41	6	138	54.3%
	女	35	46	17	18	116	45.7%
	計	68	104	58	24	254	100.0%
	率	26.8%	40.9%	22.8%	9.5%	100.0%	—

※再任用は含まない。

2. 同一校多年勤務者数（総括教諭・教諭）（令和6年3月31日見込）

	10年以上	9年	8年	計	割合
小学校	6	13	36	55人	9.4%
中学校	2	13	13	28人	11.0%

3. 令和4年度末異動状況（教職員）

		小学校	中学校	計
辞職		18	14	32
転出	県内	4	3	10
	県外	3	0	
管理職異動		18	7	25
市内配置換		73	16	89
転入		8	5	13
新採用	男	12	4	39
	女	15	8	
計		151	57	208

4. 新採用教職員数の推移（教諭、養護教諭、事務職員、栄養職員を含む）

年度	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
小学校	48	44	29	30	36	37	40	36	38	23	27
中学校	19	18	13	13	15	22	19	16	17	13	12
計	67	62	42	43	51	59	59	52	55	36	39

5. 再任用教職員数の推移

年 度		2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	R 1	2	3	4	5
小 学 校	教 諭	4 0	4 2	3 3	2 8	2 5	2 2	2 4	2 3	2 1	1 7	1 4
	養護教諭	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	1
	栄養職員	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	事務職員	0	3	4	6	4	3	2	2	1	1	2
中 学 校	教 諭	2 8	2 5	2 0	2 3	2 0	1 7	2 2	2 6	3 1	3 0	2 7
	養護教諭	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1
	栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務職員	0	0	0	1	1	1	2	1	0	0	0
合 計		6 9	7 0	5 7	5 8	5 2	4 7	5 1	5 4	5 7	5 1	4 5

6. 児童・生徒・教職員数等の推移

(各年度 5月1日現在)

年 度	小 学 校				中 学 校			
	学校数 (校)	児童数 (人)	学級数 (c)	教職員 数 (人)	学校数 (校)	生徒数 (人)	学級数 (c)	教職員 数 (人)
2 5	1 9	11,534	422	650	9	5,733	184	373
2 6	1 9	11,504	424	658	9	5,587	177	365
2 7	1 9	11,628	435	659	9	5,517	175	360
2 8	1 9	11,618	434	663	9	5,467	174	356
2 9	1 9	11,729	440	664	9	5,432	175	363
3 0	1 9	11,880	445	678	9	5,305	176	359
1	1 9	11,799	446	695	9	5,338	177	365
2	1 9	11,926	458	708	9	5,359	183	369
3	1 9	11,777	459	719	9	5,571	188	376
4	1 9	11,797	466	726	9	5,600	190	380
5	1 9	11,778	474	745	9	5,669	190	382

7. 令和5年度学年別児童・生徒数

(令和5年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
小学校	1,862	1,887	1,843	1,910	1,813	1,883	580	11,778
中学校	1,788	1,781	1,905				194	5,669

## 第37回大和市学校給食展 実施報告

### 1. 実施日等

日時：令和5年7月22日（土） 10：00～16：00

会場：大和市文化創造拠点シリウス サブホール

### 2. イベント概要

- ・ 給食の歴史（レプリカ・昔の献立表）の展示・給食機器・器具の展示
- ・ 図書給食の取組み紹介・食育イベント（体験）豆つかみゲーム
- ・ 牛乳に関するクイズ・動画公開（横浜森永乳業株式会社・近藤乳業株式会社）
- ・ 和食に関する動画公開（一般社団法人和食文化国民会議）

### 3. 来場者数 780名

※参考 前回会場開催時（令和元年度）

令和元年7月20日（土）・7月21日（日） 10：00～16：30

大和市文化創造拠点シリウス 1・4・6階を用いて実施

来場者数（1・4・6階 各会場のべ人数）：1,452人（1日目：706人 2日目：746人）

### 4. 実施結果 アンケート集計枚数：487枚

○来場者

住まい：市内在住約73％・市外在住約27％

年齢：中学生以下 36％、10代～20代 7％

30代～40代 38％、50代～60代 12％ それ以外 7％

○印象に残った内容（複数回答可）

調理機器 48％

給食の歴史 47％

豆つかみゲーム 33％

牛乳に関するクイズ・動画（横浜森永乳業株式会社・近藤乳業株式会社） 27％

あなうめラリー 22％

図書給食の取組み紹介 17％

○来場者からの意見・感想等（アンケートより抜粋）

- ・ 大和市の給食がどのように作られているのか楽しく学べました。
- ・ 給食展に行ってもっと給食を好きになった。図書給食が楽しみです。
- ・ 4年ぶりの会場での開催ということで小学4年生の子に学校給食のことを伝える良い機会になりました。今幼児の子にとってもとてもよい機会になりました。
- ・ 給食に対するイメージもより上がったと思います。
- ・ 子どものころ好きだった給食が懐かしく思い、見学に来ました。手作りが多かったり、こんなに大変なんだと改めて知ることが出来ました。

### 5. 今後の課題

- ・ 冊子やアンケート等配布物の配布方法の検討
- ・ 給食をモデルとした食育の観点から、内容等の検討

## 夏休み親子料理教室 実施報告

### 1. 実施日等

日時：令和5年8月2日（木）・3日（金） 10時～13時

会場：神奈川県学校給食会館（大和市中央3-5-4）

メニュー：麦ごはん・こめっこカレー・ピリ辛きゅうり・オレンジゼリー・すいか

栄養教諭・栄養士による講話：大和市の学校給食・食育について、クイズを交えて紹介

### 2. 参加者数 47組95名

8月2日（木）：23組47名、3日（金）：24組48名

応募総数：89組（定員：2日間で48組）

### 3. 実施結果 アンケート集計：親子で1枚（回収率100%）

○時期について

「よかった」39組（83%）、「7月の下旬がよい」3組（7%）、「その他」4組（10%）

○今回のメニューについて

「よかった」44組（94%）、「あまりよくなかった」3組（6%）

よかった理由：夏らしいメニューでよかった、アレルギー対応もできるメニューだったので、こめっこカレーの味が気になっていたの知れてよかった等

よくなかった理由：野菜が苦手なので、もう少し野菜ぎらいでも食べやすいメニューを希望、カレーが苦手、味がうまくいかなかった

○今後聴きたい内容について

野菜嫌いを克服できるような内容、学校給食の様子、学校で作っている食品について、給食献立を作る時の苦労や食材について、食に関する内容でよければどんなものでも、給食の残りについて（どれだけ残るか残ったものはどうなるのか）等

○ご意見（一部抜粋）

- ・お母さんと協力して、できたので仲が深まり、とっても楽しい時間がすごせた。
- ・班の皆で協力して作ったから、達成感があった。自分たちが作ったから美味しく楽しかった。
- ・身近な給食メニューで子どもも嬉しかったようです。これを機に、家でも作ってみたいと思う。
- ・みんなで協力しながら楽しく作ることができました。栄養士さんから学校給食の様子も聞いておもしろかった。

### 4. 今後の課題

- ・開催日や開催方法の検討（参加希望者に対して、参加できる人数が限られているため）
- ・熱中症対策

# 大和市学校教育基本計画に基づく 令和4年度学校評価アンケート

その他報告

指導室

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析	
基本目標 1	子ども一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を育てます	1	基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を重視した教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学級、少人数(TT)指導</li> <li>・SA、学習支援ボランティアの活用</li> <li>・授業改善</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 12 1 0	5 4 0 0	少人数指導やSAの活用等により、きめ細やかな指導ができ、基礎的な知識技能の習得について、一定程度の成果が出ている。また、放課後寺子屋との連携により個別指導や的確な教材提供につながっている。支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、人的配置の保証等、課題となっている。
		2	「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善し、質の高い学びを実現する取り組みを推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導と評価の一体化</li> <li>・校内研究</li> <li>・ICT機器の活用</li> <li>・調べる学習(探究的活動)</li> <li>・学習における新聞の活用</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	5 4 0 0	感染症防止対策により活動に制限がある中でも、校内研究を中心に授業研究を行い、授業力の向上に努めている学校が多かった。それにより、「主体的・対話的で深い学び」の意義をより考えた授業づくりにつながっていた。また、クロームブックの活用方法について教職員同士が情報共有する時間が増えており、今後、好事例を共有する機会を設けていきたい。
		3	学習に対して困難をかかえる子どもに適した教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人児童生徒に対する支援</li> <li>・(特別)支援教育</li> <li>・児童支援中核教諭</li> <li>・SC、SSW、相談員</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 10 1 0	8 1 0 0	学校では、児童生徒の個々の状況を把握し、全教職員で情報を共有し、支援方法を検討する時間を設けている。状況によっては、関係機関と連携しながら、より適切な対応を行えるよう体制を整えている。支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズが多岐にわたっており、その対応について、各学校の指導・対応の向上を図る必要がある。
		4	今日的な教育課題に対応した授業に向けて研究・研修を深めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修</li> <li>・プログラミング教育</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	5 4 0 0	感染症防止対策により制限はあり、各学校において研修をすることが多かった。その中で今日的教育課題に対して、授業改善に向け各学校工夫を凝らして実施していた。また、プログラミング教室の開催によって家庭での取組へつながりつつある。
		5	学びを支える教育環境整備を進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材、教具の工夫(ICT機器含む)</li> <li>・校務支援システムの活用</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	6 3 0 0	一人一台端末の活用が進み、児童生徒一人一人に応じた学習環境を整えることができている。電子黒板やプロジェクターを活用した授業は、視覚的に分かりやすい授業を展開することができている。また、スタディサプリを導入したことで、児童生徒が自分のタイミングで学ぶことができ、より個別最適な学びにつながっている。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 2	様々な体験を通し、豊かな感性を育みます	1 想像力を豊かにする読書活動を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動</li> <li>・朝読書、読み聞かせ</li> <li>・学校図書館の活用</li> <li>・図書館教育の推進</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	5 4 0 0	担当教諭と学校司書が連携し、選書や図書館のレイアウトを工夫することで、本に興味・関心を持つ児童生徒が増え、読書活動につながっている。また、調べ学習において、書籍とデジタル教材を併用することで、情報を活用し表現する力の育成にもつながりつつある。感染症防止対策を行いながら、読み聞かせを再開している学校もあった。
		2 感受性を育て、表現する力を養う教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞</li> <li>・福祉体験</li> <li>・日本の伝統文化に触れる授業</li> <li>・給食時間を活用したコミュニケーション</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	3 15 1 0	3 6 0 0	感染症防止対策により、中止を余儀なくされていた活動が徐々に実施できるようになり、芸術鑑賞や福祉体験等、意欲的に取り組む様子が見られた。また、本物に触れることで児童生徒の自然な表現につながっていた。給食時間において、積極的にコミュニケーションをとることは難しい状況は続いていた。
		3 様々な体験学習の機会を提供します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動</li> <li>・キャリア教育</li> <li>・職場体験、職業講話等</li> <li>・自然体験学習</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 10 2 0	4 5 0 0	感染症防止対策のため、活動が制限されている中、オンライン社会見学を取り入れた学校もあった。多くの学校が社会見学、体験学習等を実施し、児童生徒が主体的に考え、意欲的に活動する様子が見られた。今後、児童生徒に必要な体験学習の機会を提供できるよう、支援していきたい。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析	
基本目標3	安心安全な環境を整え、健康な心身を育てます	1	心身ともに健康に生活を送るための、健康教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進</li> <li>体力、運動能力の向上</li> <li>教員が子どもと向き合う活動</li> <li>教育相談</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 10 1 0	4 5 0 0	感染症防止対策に取り組みつつ、体育・保健体育の授業を中心に、体力、運動能力の向上に努めた。また、休み時間等を活用したレクリエーションや児童生徒が主体となり企画したスポーツ大会など実施した。日常の児童生徒の変化を見逃すことがないように授業中や休み時間の観察や言葉かけを行うとともに、アンケートや教育相談も実施した。
		2	健康な心身のための、食育を推進します	・食育	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	4 15 0 0	2 7 0 0	栄養教諭を中心に、食育に関する情報を新聞等にまとめ、児童生徒に分かりやすく提示した。給食の時間に栄養について放送を行うことで、「食」に興味・関心をもつきっかけづくりを行った。衛生面に配慮した配膳や食べ方、マナーについても指導を継続した。
		3	命を守る、安全教育を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>命の授業</li> <li>安全・防災教育</li> <li>情報モラル教育</li> <li>登下校の安全、パトロール</li> <li>PSメール</li> <li>防災計画の改善</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	4 5 0 0	各学校において、道徳や特別活動の時間をはじめ、教育活動全体を通じて「いのちの大切さ」について学んでいた。感染症防止対策のため制限のあった避難訓練を全体で実施することができ、児童生徒が緊張感を持って取り組んでいた。PSメールの登録率も高く、保護者も含め安全に対する意識が高まっている。
		4	安全安心で、子どもが落ち着いて学べる学校の環境づくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室環境の整備・美化</li> <li>学校施設の維持管理</li> <li>学校安全計画、危機管理マニュアル</li> </ul>	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	3 15 1 0	3 6 0 0	教職員による学校施設の定期的な安全点検を行い、教室環境の整備、施設の維持に努めた。感染症防止対策のため、より適切な教室環境を維持する必要がある、対応に苦慮する学校もあった。学校安全計画を定期的に見直し、実際に活用できる計画を策定していた。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

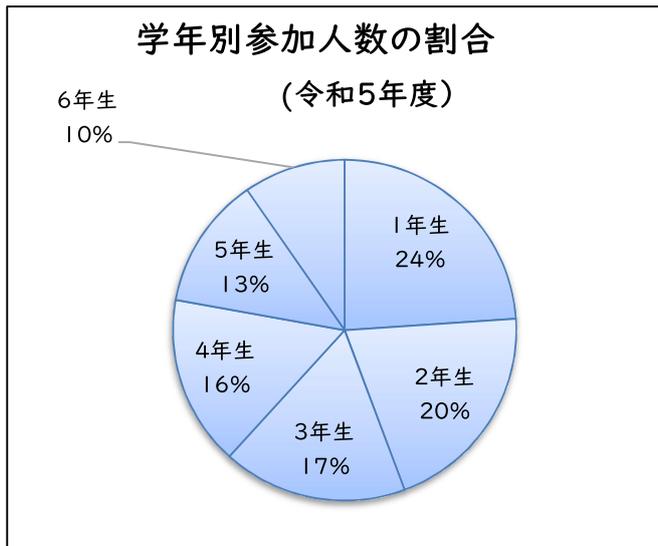
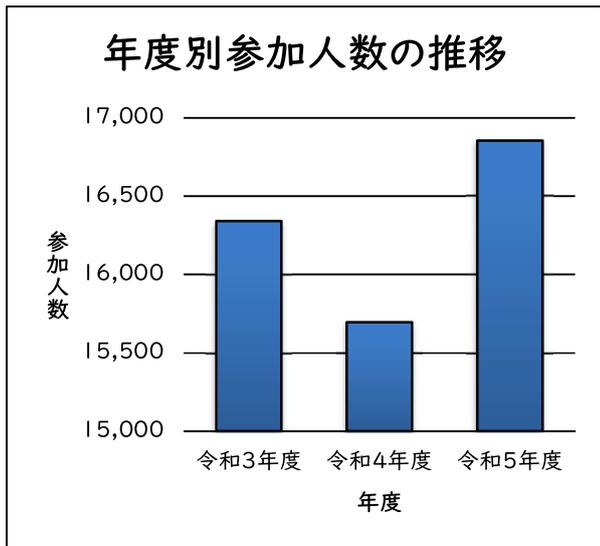
基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析	
基本目標 4	多様性を尊重し、他者とともに生きる社会性を育てます	1	いじめのない学校生活に向けた取り組みを進めます	いじめ対策	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	6 3 0 0	いじめの未然防止と早期発見・早期対応をめざした「いじめ防止基本方針」に基づき、児童支援中核教諭・生徒指導担当教諭を中心とし、職員の共通理解を図っていた。また、関係機関等と連携しながら、学校全体で組織的な対応を行った。スマートフォン用の匿名報告・相談アプリケーション「STANDBY」を一人一台端末にも導入し、いじめの早期発見・早期対応に努めた。
		2	不登校のない、だれもが通いたくなる学校作りを進めます	不登校対策	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 12 1 0	5 4 0 0	職員会議等で児童生徒の情報交換を行い、不登校の未然防止、早期対応に努めていた。また、不登校状態の児童生徒に対しては、家庭と連携を密にするとともに、家庭訪問を行ったり別室登校等、居場所づくりを行ったりするなど個別の対応を行っていた。不登校状態の児童生徒への教育的ニーズが多岐にわたっており、その対応について、人員配置も含め、各学校の指導・対応の向上を図る必要がある。今後も青少年相談室と連携し、支援の方法を模索していきたい。
		3	社会性を育む道德教育を推進します	・異学年交流等による社会性の育成 ・道德教育 ・人権教育 ・教員の人権意識の向上	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	4 5 0 0	感染症拡大防止の観点から、対面しての異学年交流等ができないこともあったようだが、工夫して取り組み、社会性を育成する姿も見られた。道德科の授業を中心に子どもたちの道德教育・人権教育が推進されていた。教員への人権意識については、研修やリーフレットでの情報提供を通じて意識向上を図っている。
		4	社会に開かれた学校教育を推進します	・地域の施設等訪問、ボランティア活動 ・学校評価 ・学校評議員会 ・ホームページ、学校便り ・地域人材力の活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	3 14 2 0	0 9 0 0	ホームページ等を活用し、学校の情報を発信する工夫が見られた。地域やPTAのボランティアの方に見守りや清掃活動をしていただいた学校もあった。今後も学校運営協議会委員および学校評議員の方のご意見も参考にしながら、開かれた学校教育が推進できるよう支援していきたい。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

## 「令和5年度 夏休み寺子屋やまと」について

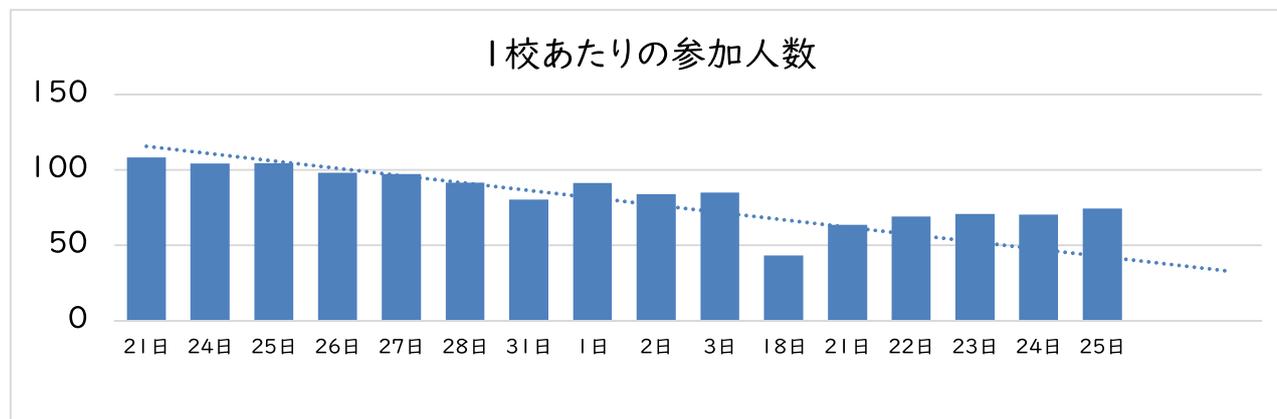
(1) 児童参加人数(のべ人数) ※本年度は空調機故障等のため一部人数制限を実施した学校あり。

単位:人	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
令和3年度	3,630	3,472	2,797	2,531	2,165	1,747	16,342
令和4年度	3,490	3,206	3,028	2,514	1,899	1,558	15,695
令和5年度	4,034	3,438	2,932	2,718	2,113	1,621	16,856



(2) 開催日別参加人数(のべ人数)

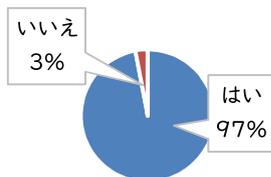
7月	21(金)	24(月)	25(火)	26(水)	27(木)	28(金)	31(月)		
実施校数	15	18	19	13	17	18	12		
人数(人)	1,623	1,877	1,986	1,275	1,652	1,644	964		
8月	1(火)	2(水)	3(木)	18(金)	21(月)	22(火)	23(水)	24(木)	25(金)
実施校数	8	6	2	1	9	12	17	16	9
人数(人)	729	503	170	43	570	829	1,200	1,123	668



## 「令和5年度 夏休み寺子屋やまと」児童からのアンケート

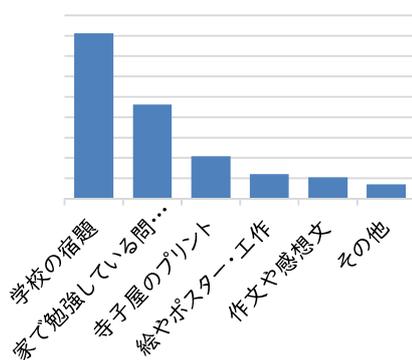
(1) 夏休み寺子屋やまに来てよかったですか。

はい	1,709
いいえ	52



(2) 夏休み寺子屋やまとでどんな勉強をしましたか。(複数回答)

学校の宿題	1,624
家で勉強している問題集など	924
寺子屋のプリント	419
絵やポスター・工作	242
作文や感想文	211
その他	141

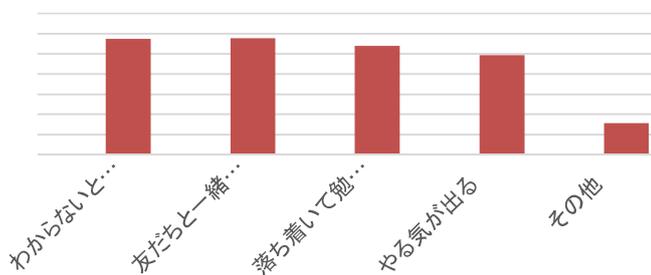


<その他(内容)>

- ・漢字練習
- ・習字
- ・読書
- ・自主学习
- ・英語
- ・寺子屋検定
- ・そろばん
- ・塾の宿題
- ・クロームブック
- ・小説づくり
- ・算数ゲーム
- ・ことわざ四字熟語
- ・都道府県の学習
- ・自由研究
- ・読解プリント
- ・テスト直し
- ・スタディサプリ
- ・日記
- ・調べ学習
- ・ひっ算のしかた

(3) 夏休み寺子屋やまのいいところはどんなところですか。(複数回答)

わからないところを先生や友だちに教えてもらえる	1,149
友だちと一緒に勉強できる	1,156
落ち着いて勉強できる	1,081
やる気が出る	986
その他	312



<その他(理由)>

- ・先生が心をこめて優しく教えてくれる
- ・夏休みでも勉強する習慣がつく
- ・手を挙げると先生がすぐ来てくれる
- ・一人でも1時間しっかり勉強できる
- ・図書館で本を読んだり調べたりできる
- ・いろいろな知識を教えてくれる
- ・ポスターづくりのアドバイスをくれる
- ・先生と一対一で勉強できた
- ・うるさい人にはきちんと注意してくれる
- ・自分のペースでがんばれる
- ・先生が勉強のポイントを教えてくれる
- ・色々なプリントがあり、沢山勉強できる
- ・楽しく勉強を教えてくれる
- ・友だちみんな勉強できる
- ・習字が上手に書けるようになった
- ・本をたくさん読むことができる
- ・読書感想文の書き方がわかった
- ・友だちと助け合って勉強できる
- ・先生がみんな優しい
- ・学校で勉強できるから落ち着く
- ・寺子屋が好き
- ・冷房が効いていて涼しい
- ・辞書や辞典がかりられる
- ・静かに計画的に勉強できる
- ・丸付けをしてもらえる
- ・折り紙を教えてもらえる
- ・夏休みに友だちと会える
- ・休憩もあって集中できる
- ・担任の先生にも会える
- ・学校より質問しやすい

## 令和5年度 中学校夏休み寺子屋やまについて 報告

夏休み寺子屋やまど (中学校寺子屋学習支援コーディネーター・学習支援員が対応)

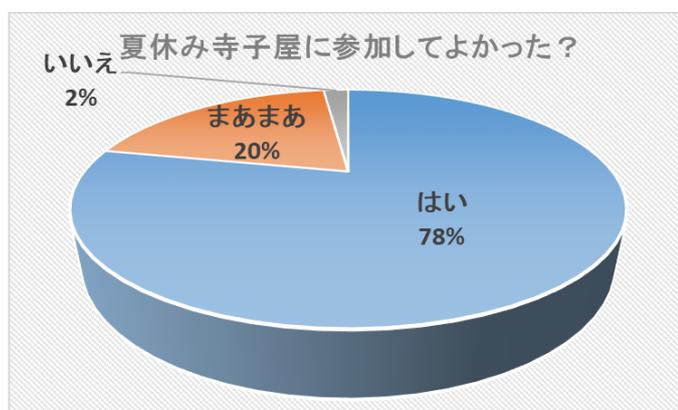
○日数 6~8日(各学校で設定)

○対象 全学年

○参加人数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年度
実人数	中止	475	516	806
延べ人数	中止	1768	1740	2071

○参加した生徒のアンケートより



○参加した生徒の感想(一部)

- ・宿題を集中して、できるのでとても良いです。
- ・先生がいることで、わからないところをすぐ聞けたり、とてもやりやすかったです。
- ・静かで勉強しやすかったです。
- ・家より集中してできました。
- ・とても静かで集中しやすく勉強がはかどりました。また来年も行きたいです。
- ・授業の時に聞けなかったことを先生に聞けたり、友達と楽しく勉強ができました。
- ・家より学校の方が全然集中できるので、また次の機会を待ってます。非常に勉強がはかどりました。
- ・家より集中して勉強できるから、来れて良かったと思う。
- ・分からない問題が分かるようになりました。
- ・家で勉強するより、チャレンジルームで勉強したほうが何倍も良かったので、参加して良いと思いました。
- ・分からないとき、説明してもらい理解しながら勉強できたのが良かった。
- ・学校に行ったら、スマホなどがなくて集中できた。
- ・分からないところがあったら、すぐに聞いて分かるから、分からない問題を残すことなく、進められてすごく良かった。
- ・最初は緊張したが、とても集中してできた。また、寺子屋に行きたいです。
- ・自分一人ではできない宿題ができて良かった。
- ・先生たちが優しく分からないところを教えてくれて助かりました。
- ・家ではほぼしないので、寺子屋がやっていた良かったと思いました。

3年夏の学習会について(中学校学習支援少人数非常勤講師【英・数】が対応)

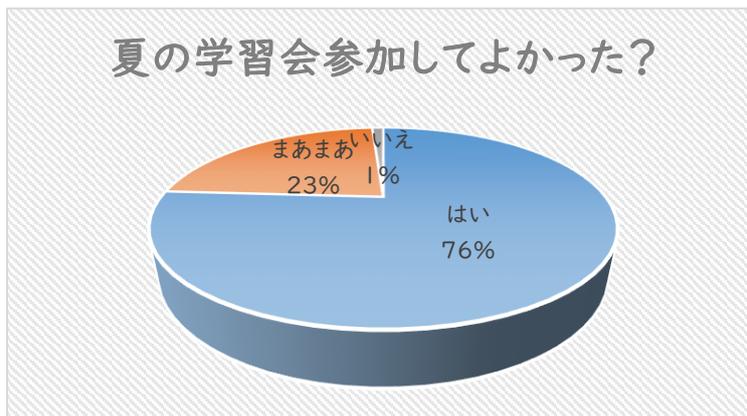
○日数 6~7日(各学校で設定)

○対象 3年生

○参加人数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年度
実人数	中止	306	496	682
延べ人数	中止	2391	2304	2987

○参加した生徒のアンケートより



○参加した生徒の感想(一部)

- ・わからないところを教えてもらったので良かったです。
- ・家では勉強が進まないの、ここで勉強ができてよかった。
- ・家で勉強するよりも集中できてよかった。
- ・基礎に関して一から学べてよかった。
- ・楽しく勉強することができた。
- ・今まで学んだことを思い出せたので、有意義な時間であった。
- ・勉強に集中できた。
- ・1,2年生の時に習った範囲で、どこが苦手なのかがわかった。
- ・自分の苦手な分野が知れたり、1,2年生の復習ができたりするので、とても来てよかったと感じています。先生の説明がとてもわかりやすいです。
- ・数学と英語が少し好きになれてよかった。
- ・ライバルであり、仲間でもある友だちと一緒に勉強できて、集中できたし、頑張ろうと思えた。教え方が丁寧であったので、授業についていけた。
- ・とても静かな空間で、勉強しやすかったです。
- ・6日間来て、本当に良かったと思いました。今まで解けなかった問題も、スラスラと解けるようになりました。
- ・数学・英語の受験対策ができてよかったです。また、それぞれの講座がわかりやすかったです。
- ・自分の実力が上がり、とても充実した6日間でした。
- ・苦手であったリスニング問題がだいぶできるようになって嬉しかった。
- ・楽しかったし、とても充実した時間になった。受験に向けてもっと頑張っていきたい。
- ・友だちと、難しい問題に向き合えて楽しかった。
- ・「わからない」と言ったらわかるまで教えてくれてありがとうございました。自分の学力向上につながりました。
- ・長文でグラフについて、どのように解けばよいかをピンポイントで教えて頂けたので、もっと実力を伸ばしていければと思います。
- ・苦手であった図形の問題が解けるようになった。